

ちば里山新聞

(第 44 号)
 編集発行 NPO 法人ちば里山センター
 袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148
 ☎ 0438-62-8895
 題 字 倉島 貴浩
 (ワークホーム里山の仲間たち)

ちば里山新聞は千葉県からの事業委託を受け、特定非営利活動法人ちば里山センターが編集発行しています

東日本大震災で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。ともに復興に向けて努力してゆきましょう。

26 年度決算、27 年度予算など承認

ちば里山センター平成 27 年 3 月期通常総会

本年度通常総会が、平成 27 年 6 月 21 日、千葉県緑化推進拠点研修室で 13 時から開催され、平成 26 年度事業報告・決算及び平成 27 年度事業計画・予算案、任期満了に伴う役員改選議案等が、いずれも原案通り承認可決されました。

総会への出席者は、正会員総数 96 名中委任状を含めて 72 団体。(写真＝事業報告に耳を傾ける正会員。報告は菅野事務局長)



司会は、ちば里山センター風間理事。金親理事長のあいさつの後、来賓を代表して橋本信一千葉県森林課副課長兼森林政策室長(写真④中央)から祝辞が述べられました。議長には久我哲也氏(ちば千年の森をつくる会)が選任され、議事が進められました。

理事・監事が一部交替

また、任期満了による役員の改選では、4名の理事と 1名の監事が退任、新たに 3名の理事と 1名の監事が選任されました。そのうえで、新たに選任された 11名の理事(右表)の互選により、理事長及び副理事長(役付き役員)が次のように決定し総会の場に報告されました。◇理事長:金親博榮 ◇副理事長:高橋和靖・鈴木恵子

お疲れさまでした 退任された役員:写真左から新井孝夫理事、鶴岡清次理事、那須捷雄監事

意見交換会・懇親会で交流

総会終了後、14 時からちば里山センター・伊藤理事の司会で意見交換会

が行われました。まず、千葉県森林課・西野文智主幹から「森林整備加速化・林業再生交付金(未利用間伐材利用促進対策)」及び「木質バイオマス発電施設における木質バイオマス利用について」の情報提供がありました。続いて千葉県農林総合研究センター森林研究所・遠藤良太所長から、木材の置かれた状況は厳しいが、その特性に目を向けて利・活用に取り組んでゆこうと、研究者の視点からの前向きなコメントが寄せられました。



選任された役員		
役職	氏名	
理事長	金親 博榮	再
副理事長	高橋 和靖	再
〃	鈴木 恵子	再
理事	赤松 義雄	新
〃	伊藤 道男	再
〃	梅山 雄二	再
〃	風間 俊雄	再
〃	小西 博典	再
〃	鈴木 宗男	新
〃	高木 喜久雄	新
〃	横山 武	再
監事	黒沢 誠悦	新
〃	南波 悠二郎	再

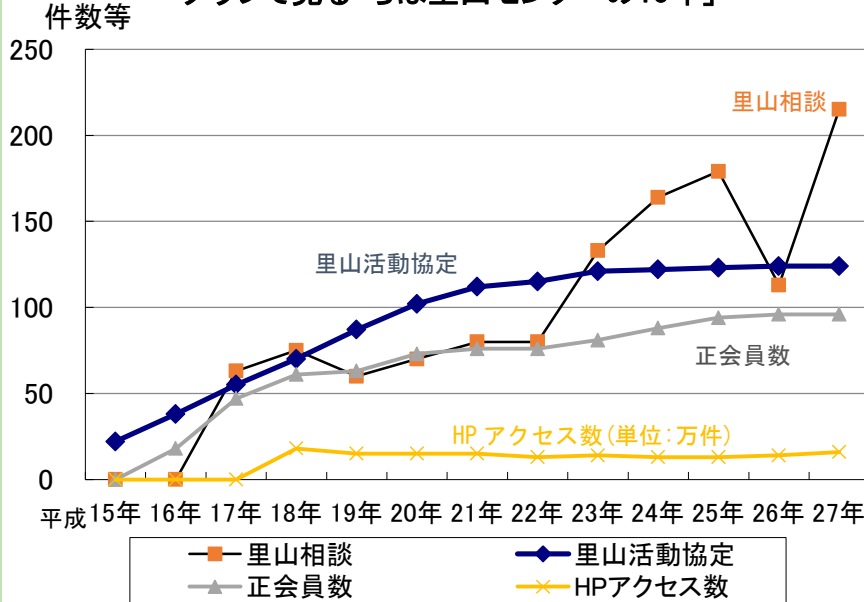
* 理事・監事は 50 音順

そして、ちば里山センター・高橋副理事長が、設立から 10 年が経過したちば里山センターの活動や状況を概括した報告を行いました(一部を下欄に別掲)。

引き続き 15 時から懇親会が行われ、相互に交流して大いに盛り上がりました。(写真⑥)



グラフで見る「ちば里山センターの10年」



右上がりの指標多く

ちば里山センターが設立されて 10 年が過ぎました。平成 15 年に施行された里山条例のもと、里山に関するワンストップサービス、里山人の育成、活動団体運営支援などを通じて、里山への理解を深め定着させるさまざまな活動を進めてきました。10 年の歩みを示すいくつかの項目についてグラフに表しました。

1. 正会員数の推移:3年目に 50 名を超え、現在では 100 名近くに増加しています。
2. 里山協定締結件数の推移(累計):累計では 124 件となっています。
3. 里山相談対応件数の推移:NP0 法人化から急激に増加し、200 件/年を数えています。
4. HPアクセス数の推移:年間 1 万数千件のコンスタントなアクセスが維持されています。

テーマは「里山と資源循環」

5 月 17 日 里山シンポジウム in 山武

第 12 回里山シンポジウム全体大会が、平成 27 年 5 月 17 日、山武市立大富小学校で開催されました(主催:里山シンポジウム実行委員会)。山武周辺地域の里山団体を中心にしたいくつかの分科会の活動発表をベースに、映画「木を植えた男」の上映や映画監督高畑勲氏の基調講演(「F・バックさんの伝えたかったこと」)等が行われました。そのほか、山武市が持つ資源を発掘し、地産池消やバイオマスエネルギー利用を考え、また子供たちの住む豊かな環境を実現するための鼎談や意見交換が行われました。入場者は 500 人。(写真=全体会議が行われた山武市立大富小学校)



エコメッセ 2015

9月23日(木) 幕張メッセ国際会場

「千葉県」「千葉県里山林保全整備推進地域協議会」「ちば里山センター」が出展参加します。

新会員紹介「いすみ薪ネットワーク」

薪ストーブでほのぼのの交流

それは“薪困窮者”の薪集めから始まった——

私たち「いすみ薪ネットワーク」は、名前の通り「薪」を使う人々の団体です。2013 年 3 月に立ち上げました。いすみ市とその周辺地域の薪ストーブ愛好家が大半です。その多くは、田舎で薪ストーブのある生活を夢見て都市部から移って来た方々で、リタイア世代から子育て世代まで幅広い世代で構成され、現在 54 人が会員に登録しています。

移住後、薪をいざ手に入れようとしても意外と難しいことが分かります。山に行き落ちている枝を集めても全く足りませんし、木を伐り薪にするのも大変なことが分かります。そうした薪困窮者の人たちで、薪集めを共同してやろうというところからこの会は始まりました。(写真⑥⑤)

活動としては、地域の伐採作業で出た不要樹木の処理を造園業者さんや土建業者から頼まれ引き取ったり、屋敷林や庭木の伐採を頼まれ、幹の部分を引き取ったりする原木集めが第一段階の作業です。次に、集めた原木を、参加した会員がそれぞれ自宅に引き取り、薪に加工するのが原則ですが、オーバーフローした原木は、会で借りている薪ヤードに持ち込みます。原木集めには参加できない会員でも、薪ヤードでの薪づくり作業に参加して、薪にした状態で持ち帰ることができます。また、有償でできた薪を購入するユーザー会員という制度もあり、活動資金をねん出するう



えで大事な存在です。

“山林保全”や“エネルギー”など社会的な意義も

会員間の交流では、薪づくりや薪ストーブに関する知識、山仕事での安全作業の知識、チェーンソー、斧、薪割機などの道具の知識など、活動中によく話し合います。また、薪利用はバイオマスエネルギー活用の一翼として利用拡大をはかることが山林の健全化にとっても重要なことという認識から、昨年はいすみ市の市民提案事業として二つの事業に取り組みました。

「親子で楽しむ薪づくり・森遊び」と「南房総市でのバイオマス活用事例視察」です。いずれも好評で継続が期待されています。(写真④=親子で薪割りに挑戦)

薪づくりは、薪ストーブユーザーの趣味の活動と思われがちですが、地域の山林の保全、再生可能エネルギーの活用、新たな就労の機会の提供という側面からもその公共性を認知してもらおうと会の定款でも掲げ活動しています。(文:伊藤幹雄)

【いすみ薪ネットワーク・プロフィール】

- 代表者:山口誠二郎
- 設立:2013 年 3 月 1 日
- 会員数:54 名(うち女性 4 名)
- 活動地:主に夷隅郡市内
- 活動日:不定期、12 月~3 月はほぼ週 1 回

ちば里山カレッジ ボランティア養成コース 募集中

- ◆講座の期間:H27. 7.25~9.26 (8 日間)
- ◆申し込みは間もなく締め切ります。ご希望の方はお急ぎください。
- ◆「リーダー養成コース」(H27. 11.12~H28. 2.18)の募集も近々始まります。

お問い合わせ・申込先 : ちば里山センター ☎0438-62-8895 FAX:0438-62-8896

刈払い作業にチャレンジ!

5月23日 富士通株式会社の社員の皆さん

富士通株式会社の社員 10 名が、5月23日、「いちほら米沢の森」で里山の整備作業に取り組みました。

これは、同社の社員研修の一環で、自然環境の整備・保全活動への取り組みを行うもの。指導は米沢の森を考える会の鶴岡代表ほか 10 名のスタッフ。

まず、全員が「手ノコ」を持ち、草や灌木を刈り取って運び出す作業を行いました。そのあと、刈り払い機



の取扱いや操作の指導を受け、刈払い・搬出作業を行いました。

参加の皆さんからは、「初めて刈り払い機を使いましたが、わかりやすく指導していただきました。」「暑い中で大変



でしたが、きれいになった森を見ると微力ながらもお役に立てたのではないかと思います。」「徐々に大きな達成感を味わえました。」などの感想が寄せられました。

写真⑤=参加者の皆さんとスタッフで

写真⑥=刈払い作業に取り組む参加者

<里山団体活動支援金情報>

里山団体活動支援金

ちば里山センターでは、正会員団体に対する活動資金の支援を行っています。これは、ちば里山センターに寄せられる寄付金等をもって、発足して間もない団体や規模の小さな団体に対する支援を主眼とするもの。本年度も 1 団体当たり 20,000 円を上限として、資機材の購入などの活動資金の申し込みを受け付けています。

◆対象:ちば里山センター正会員(10 団体まで。申し込み多数の場合は抽選等によります。)

◆締切:平成 27 年 7 月 30 日

◆申し込み・連絡先:ちば里山センター事務局

~~~~編集後記~~~~

○林野庁(「林業安全コラム」)によれば、林業労働災害による死亡者が平成 24 年以降増加傾向にあり、本年もすでに 15 件千葉県では 3 件と、災害多発の傾向がみられるとのこと。原因は伐倒木との激突など木材伐出中が 7 割を占めています。また、これからの季節ですと熱中症も軽視できません。私たちボランティアにとっては「安全」がすべてです。7 月は安全週間。安全のありがたさをよく噛みしめて活動に臨みたいものです。(K.T)

○早いもので、事務局を担当して 1 年が過ぎました。毎日がバタバタと嵐のような 1 年でした。今年度は、心に余裕をもって親切、丁寧にみなさまに対応したいと思いますので、電話やメールをお待ちしております。(M.K)

### 入会申し込み、問い合わせ先

特定非営利活動法人 ちば里山センター

〒299-0265 千葉県袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148 ☎0438-62-8895 FAX0438-62-8896

E-mail [info@chiba-satoyama.net](mailto:info@chiba-satoyama.net) HP <http://www.chiba-satoyama.net>